



医療法人普門院診療所機関誌 平成20年秋号



総選挙を前に思うこと

平成 20 年 9 月

介護老人保健施設看清坊施設長
グループホーム能羅坊管理者



小山靖夫

35度以上の異常な暑さ、各地の集中豪雨被害が目立った夏でした。朝夕は随分凌ぎよくなって、異常気象にもめげずよく実ったこの辺りの稲は、もう殆ど刈り入れをすませています。そして看清坊では、秋の文化祭出演を目指すコーラス練習で、毎朝ピアノ伴奏にのって懐かしいメロディーが聞こえます。どんなコーラスに仕上がるのでしょうか！楽しみです。

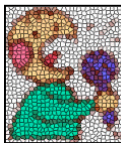
北京オリンピックは、チベット問題や、鼻白む演出過剰の映像などもありましたが、史上最大規模といわれた大会、時差も僅かな隣国での催しです。臨場感溢れる競技を Live 映像で観る機会も屢々あり、一喜一憂しながら過ごした2週間でした。どこの國の代表であれ、この日を目標に努力し、耐え抜き、磨き、鍛えあげた技やチームワークが、ここぞと披露される美しい映像に魅せられました。歓喜の笑顔・あふれ出る涙・敗退の苦渋・放心・無念の表情・言葉に表せない声・等々が生に伝わり、沢山の感動を与えられました。人間の素晴らしさの一面でしょう。

それらの余韻を楽しむ間もなく、突然の福田総理の政権投げ出しに始まり、日本の政界はめまぐるしく変化を始めました。おまけに、アメリカの大証券会社リーマン・ブラザーズの倒産が加わってメディアは大騒ぎ。この“ふもん”がお手元に届く頃には新総理の内閣に替わっているのでしょうか？もしそうであれば、その選挙が、雇用促進や物価高対策は当然ですが、前号の“ふもん”にも書きましたような、少子・高齢社会となった日本の医療・福祉体制のあるべき姿、望ましい体制とその財政基盤の確立について、私達の目の前で真剣に議論される機会になることを切望します。日本とは政治制度が異なりますが、時を同じ

くして、海の向こうで行われている米大統領選挙では、自国の医療体制の現実と将来像について、共和、民主両党の大統領候補者がそれぞれ自分の声で語っています。市場原理主義をさらに押し進めて、保険会社の競争を促し、国民がそれぞれ自身の考え（収入）に見合ったサービスを選ぶように、多様な商品を揃えさせ、政府の支出を出来るだけ減らそうとするのが、共和党 McCain 候補の考え方です。市場原理主義は競争原理を働かせて選択肢を広げ、技術やサービスの進歩、普及を促進するには有効ですが、そろばん勘定が合わない所は無視され、格差は広がるでしょう。一方民主党の Obama 候補は、収入・年令に関係なく一定レベルの医療サービスが受けられるように、機会均等性を高めて行こうとする、その底辺基盤の確立には政府支出をいとわない、従って大きな政府（諸税は上がる）政策です。簡単に言えば、日本の国民皆保険制度に近づいて行く方向です。双方の主張の内容が、国際的に信頼性が高く広く読まれている医学雑誌に掲載されていたので、私も読む機会がありました。それぞれの政党がハッキリと将来像や政策の方向性を示し、国民がしっかりと内容を理解して選ぶことが出来るように努力していると思います。日本の自民党や民主党も、それぞれが目指す日本の将来像を示し、その実現のための政策論争を、国民の前でハッキリと解るように努力してもらいたいと思います。総選挙に際しては、候補者達は宣伝カーから名前を連呼し、手を振り、お辞儀するばかりではなく、自分の政治生命を懸けた政策について、真摯に解りやすくアピールして欲しいものです。

世界に誇りうる国民皆保険制で守られてきた日本の医療体制は、今崩壊の危機に直面しています。一票に託する候補者選びに際し、候補者達がこの問題についてどの様に考えているのか、是非とも一考して頂きたいと思って書きました。





職員の声



介護 永松知晃

早いもので入社して7年目を迎えました。入った当時は、何も分からず、先輩方にも面倒をかけましたが、3年目あたりから、周りの事にも気がまわるようになりました。又、昨年 半年間普門院診療所で勉強の機会を頂き沢山のことを学びました。まだまだ分からないことがあります、これから入所者の方々がいつも笑顔でいられるように私自身も元気で明るく、いつも笑顔でケアが出来るよう頑張っていきたいと思っています。



看護 磯野洋子

看清坊職員の一人として心掛けています。それは利用者様が、毎日を健康で笑顔で穏やかに 過ごす事ができる様、働きかけることです。そのためにまず自分の出来る事を考えた時、自分自身が笑顔で一人でも多くの方に呼びかけ、話しかけをし接して行きたいと、思っています。



看清坊通所
疋田孔一

通所勤務の疋田です、宜しくお願いします。利用者の皆様が毎日持参する連絡ノートに初めて名前を書き入れたのが昨年3月でした。決して軽い気持ちで飛び込んだ介護の世界ではありませんが、森林業務から転職の私にとって利用者の皆さんとの毎日は、何をしたら良いか？何をしなければならないのか？と自問自答の繰り返しでした。そのような中、まずは皆さんが安全・快適に施設を利用して頂く事が私の仕事であると考え、利用者とのコミュニケーションを大切に、利用者の皆様により満足頂ける介護をめざし、『心と心がふれあう介護』『打てば響く介護』を目標に努力して行きたいと思っています。



看清坊相談員
足立まり子

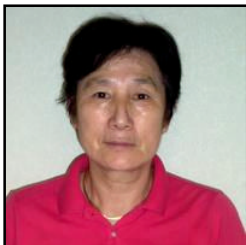
看清坊に勤務して4ヶ月が経ちました。多くの先輩方や利用者様に日常の些細な事から、心構えまで、毎日教えていただいています。私達にとって大切な事は「常に誰に対しても真摯な気持ちで向き合うこと」という先輩の指導や、今の初心を忘れずに、1日も早く周囲の状況を把握し調整ができる相談員になれるよう努力していきたいと思います。



中善坊相談員
大根田良江

今年で入社7年目になります。現在は、昨年5月の開所時から「中善坊」で勤務し、1年以上が過ぎました。

利用者の方々が1日を快適に過ごせるよう、精一杯頑張っています。これからも利用者、御家族との信頼関係を築けるように日々努力して行きたいと思います。



能羅坊介護職
松本啓子

不安を抱き入社してからはやいもので6年が経ちました。

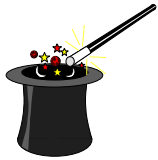
介護職員ですが、調理師免許を活かして入居者の方々に美味しい食事を提供し、誕生日には誕生者のお好きなスイーツを作って幸せな気分を味わって頂いています。



理学療法士
羽石咲子

6月末に入職しました理学療法士の羽石咲子です。

普門院診療所で働き始めて約3ヶ月が経とうとしています。まだまだわからないことが多く、皆様に助けられてばかりの毎日を過ごしています。患者様が楽しく和やかにリハビリができるような雰囲気をつくっていききたいと思います。よろしくお願いします。



ボランティアの風景

益子少年少女合唱団 6/29



フルート 6/16



マジックショー 9/14



たから幼稚園 9/17



益子50年会 10/5



尺八 10/14



〔益子50年会〕は、昭和50年益子生まれの男女24名が、ボランティアで益子町の為に役立とうとして結成されたそうです。これまで益子駅や陶器市周辺の清掃、公園の草取りなどをされました。今回益子町社会福祉協議会からの紹介で防腐剤を塗りに来で下さいましたが、参加メンバーのほとんどが、益子町に看清坊や能羅坊があることを知らなかったそうです。

行事スナップ

納涼祭 8/2



さつま芋掘り 10/17



花火大会 8/22



運動会 10/27



益子町文化祭 10/19



介護士たちの
待遇改善を望む

益子町 片岡 定光
(無職 79歳)

◇秋晴れの日曜日、町の文化祭舞台部門発表会に行ってきた。大正琴、詩吟、民謡などの演目にたくさんの人が出演し、日ごろの練習の成果を披露し観衆を堪能させ、拍手喝采がわき、心が癒やされた。

◇特に私の心をとらえたのは、介護職員に手を引かれたり、車いすを押され出場した介護老人施設の人たちによる合奏合唱だ。介護老人と介護職員が一体となつての演奏は、日ごろの練習の様子や施設内での温かい光景が思い浮かび、涙なしには見られなかった。

◇音楽が医療関係にも生かされてきているが、介護施設でのこの取り組みは、介護老人をどんなに元気づけ、生きる力になっているだろうか。そのためにも、介護士たちが安心して介護に精を出せるよう、待遇改善に一層の力を注ぐよう政府に要望したい。

(下野新聞に投稿された記事 下野新聞社と片岡定光氏の許可が得られたので転載しました)

お知らせ

風邪やインフルエンザが流行する時期が近づいています。高齢者や病人への感染を防ぐために、発熱した方は、しばらく面会をお控え下さいますようお願い申し上げます。私たち職員も、予防接種を受け、日頃から手洗い・うがい等をよく行って予防に努めています。

併せて、引き続き食中毒の予防も宜しくお願い致します。

今後の行事予定

12月20日（土） 看清坊 クリスマスと灌仏会

（お釈迦様もイエス・キリストも春に誕生されました）

12月21日（日） 能羅坊 クリスマス会

発行日／ 平成20年11月8日

発行所／ （医）普門院診療所 介護老人保健施設看清坊

栃木県芳賀郡益子町益子4493 TEL.0285-70-1150